

Yamagata role model

西澤 恵子 観光文化スポーツ部長

これまでのキャリアパス

昭和62年度入庁

一般級

米沢女子短期大学、広報課、社会課、県民生活女性課

係長級

県民生活女性課、都市計画課、健康福祉企画課

主査級

村山総合支庁商工労働観光課、交通政策課、地域・交通政策課

課長補佐級

子育て支援課(子ども政策専門員)、経済交流課国際室、
子育て支援課(副主幹)

課長級

インバウンド・国際交流推進課国際交流室長、
インバウンド・国際交流推進課長、総務厚生課長

次長級

観光文化スポーツ部次長

部長級

観光文化スポーツ部長(R4から現職)



——若手職員の頃、感じていたことやこれまでの経験を振り返って特に印象に残っていることを教えてください。

昭和六十二年に入庁し、観光や子育て支援など幅広い業務に携わってきました。特に印象に残っている業務は、少子化要因の分析のため、県として初めて「結婚についての県民意識調査」を行ったことです。合計特殊出生率の低下を受けた年度途中の緊急調査であったため、質問構成から調査対象の設定、分析、報告書の作成まで、国の統計担当者等に教えを請いながら、ほぼ一人で携わりました。山形県の特性を客観的に把握できるよう、設問を国の既存調査と揃えて比較可能にしたり、調査対象に偏りが出ないように民生児童委員に配付・収集の協力をお願いしたり、様々な工夫して完成にこぎつけました。当時、上司の中には、「結婚」という私的なものに行政が関わることに賛否両論がありました。その後、政府も結婚支援に取り組みようになり、この報告書は、しばらく本県の少子化対策の基礎データとして使われるなど、やりがいのある仕事となりました。

——困難な状況下にあったとき、どのように乗り越えてきたかを教えてください。

困難な状況を乗り越えるため、①コミュニケーション、②人とのつながり、③客観的な視点を持つこと、の三つを大切にしています。①意見の相違があつたとき、円滑に仕事を進めるためには、どこを落としどころにするかを見定め、それを上手に相手に伝えていくことが大切です。能弁でなくとも、相手を納得させようとする真摯な姿勢は相手の心にも響くと思っています。②人脈を広げることで仕事やりやすくなるだけでなく、最新情報を広くキヤッチする力も磨かれます。まずは、いま身近にいる人





～山形美術館での毎日書道展開会式～

と信頼関係を築き、機会を捉えて知り合いを増やしてほしいと思います。③困難な時は周りが見えなくなりがちですが、一歩引いて全体像を見直すと、問題点が見えてくることがあります。また、悪い方向に考えて気持ちが悪くなると、冷静な方向に客観的に見れば、そんな心配は杞憂だと気づかされることもあります。

——現在、仕事をしていて思うことや心掛けていることを教えてください。

管理職や上司になると、それまでの「どう仕事をしていくか」という自分の問題だけでなく、部下に「どう仕事をしてもらうか」という視点も必要となってきます。リーダーには先頭に立って皆を引っ張っていくタイプや、コミュニケーションを取ってチームで仕事を進めていくタイプ等あると思いますが、私は後者の方で、部下に指示する際は、ある程度のアウトラインとねらいを伝え、出来上がってきたものをできるだけ肯定的にフィードバック（改善点や評価を伝えること）することで、部下のモチベーションを上げながら一緒に仕事を進めていくよう心掛けています。

また、自分が仕事と子育ての両立に悩んだ経験から、子育てや家庭、プライベートで事情がある人には、できるだけ配慮できるように努めたいと思っています。

——自身のワーク・ライフ・バランスの推進について実践していること、仕事と家庭生活の両立について心掛けていること、プライベートの過ごし方を教えてください。

一人の子育て中は、いつも「10分でもいいから自分の時間が欲しい」と思っています。約一年間の産休・育休後に復帰しましたが、夫は超多忙な職場で、保育園も学童



～ 休日の様子～

県内の食べ歩きも趣味。朝パフェおすすめです

保育も夕方六時まででしたので時間外はできません。理解のある上司や同僚に恵まれましたが、この間は「仕事は必死になって五時半まで終わらせる（またはその姿勢を見せる）」ことを心掛け、昼休みも頭から湯気を出して仕事をしていました。こうした生活で鍛えられたところもあり、デッドラインまで仕事を終わらせるにはどうしたらよいか、どの段取りが最短で効果的か、常に意識しながら仕事するようになったと思います。

いまようやく自分の時間ができました。実は手仕事が好きで、家で時間があると大抵針を持って縫物をしています。子どもが小さい時は

布絵本や、いまは精密な刺繍のタペストリーを作っています。刺繍糸二五〇色の完成まで七年もかかるようなものですが、設計図に沿って黙々と針を刺していると、あつという間に時間が過ぎます。この「無心になる時間」を持つことは心の健康にすごく良いそうで、私も心がリセットされた気持ちになります。



～東京外国語大学との協定式での取材対応～

——管理職の魅力ややりがい、今後の目標があれば、教えてください。

若い頃、自分が管理職になる姿を想像したとき、自信がなくなるとも不安でした。いま管理職となつて思うことは「ステータジが変われば、見える風景も変わる」ということです。気がつけば、協力してほしい各部署の長には同期や元同僚の仲間がいます。関係団体の幹部も、多くが自分と年代の人が中心的立場となつており、親しく話をしたり情報をいただく機会も増えます。そして何よりも、長年の経験で自分も成長しています。新たなステージに進んでも何とかなるものですから、自信を持つて踏み出してほしいと思います。



～休日の様子～
モンテディオ山形応援中

——後輩女性職員へメッセージをお願いします。

私が先輩の女性職員からいただいた言葉をひとつ。
「置かれた場所で咲きなさい」
仕事をする中では、やりがいを持つて働くことができるときもあれば、自分では不本意な状況になつてしまふこともあります。女性登用で能力以上の場所に置かれ、背伸びして働くこともあるかもしれません。でも、どんなところでも、それぞれの場所で必ず自分ができることがあります。機会を与えられたらと思つて最善を尽くしてほしいと思います。経験はすべて自分の力になります。皆さんの活躍を期待しています。

Yamagata
role model

